

2015年12月17日

一般社団法人 GOLD 日本委員会

事務局（株式会社エム・シー・アンド・ピー内）

（担当） 本岡

（電話） 03-3597-0175 （FAX） 03-3597-0177

（Mail） info@gold-iac.jp

COPD 認知度把握調査結果報告書

● GOLD 日本委員会による COPD 認知度把握調査の実施

GOLD 日本委員会では、現在までに 2009 年 7 月、2009 年 12 月、2010 年 12 月、2011 年 12 月、2012 年 12 月、2013 年 12 月、2014 年 12 月、2015 年 12 月の 8 回にわたって、インターネットによる COPD 認知度把握調査を実施してきました。以下のとおり、その概要と結果をご紹介します。

● 調査の概要

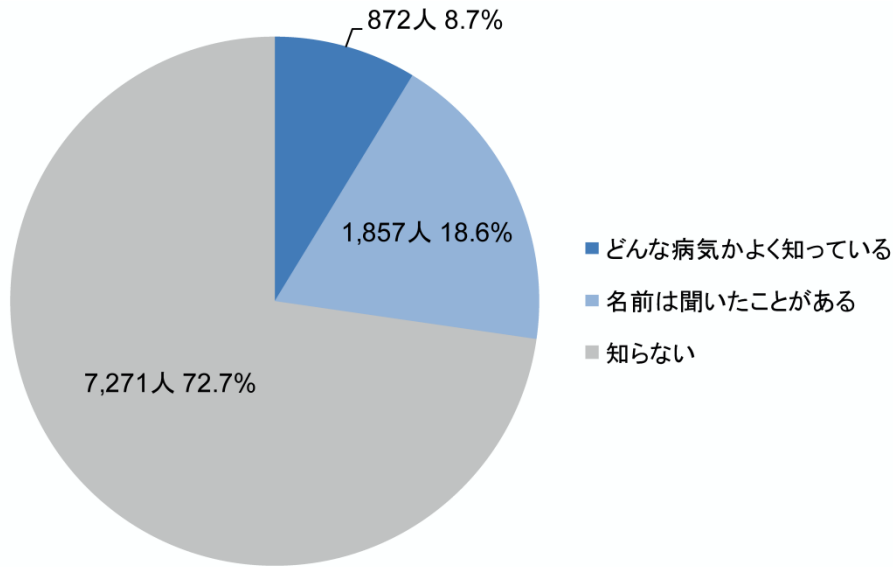
	予備調査	本調査
方法	インターネット調査	
調査期間	【第 1 回】 2009.7.23 【第 2 回】 2009.12.14 【第 3 回】 2010.12.6 【第 4 回】 2011.12.8 【第 5 回】 2012.12.14 【第 6 回】 2013.12.16 【第 7 回】 2014.12.8-10 【第 8 回】 2015.12.1-2	【第 1 回】 2009.7.27 【第 2 回】 2009.12.15-16 【第 3 回】 2010.12.7 【第 4 回】 2011.12.9 【第 5 回】 2012.12.15 【第 6 回】 2013.12.17-18 【第 7 回】 2014.12.9-11 【第 8 回】 2015.12.2-3
調査対象	マクロミル社調査パネルの中から性（男・女）、年代（20 代・30 代・40 代・50 代・60 歳以上）別に 1,000 人ずつを均等ランダム抽出した 10,000 人	予備調査で COPD が「どんな病気かよく知っている」と回答した人の中から性（男・女）、年代（20 代・30 代・40 代・50 代・60 歳以上）別に 11 人ずつを均等ランダム抽出した 110 人
調査内容	Q1. あなたは COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気を知っていますか？ Q2. あなたは「肺年齢」の検査について知っていますか？ Q3. 「COPD の早期発見に肺年齢の検査が有効である」と言われていることを知っていますか？	Q1. COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気について知ったのはいつですか？ Q2. どのような経路で COPD について知りましたか？ Q3. COPD の原因の 90%以上は喫煙であることを知っていますか？ Q4. 喫煙経験のある 40 歳以上の 8 人に 1 人は、COPD の可能性があることを知っていますか？ Q5. COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れであることを知っていますか？

資料

● COPD 認知度とその推移（予備調査 Q1）

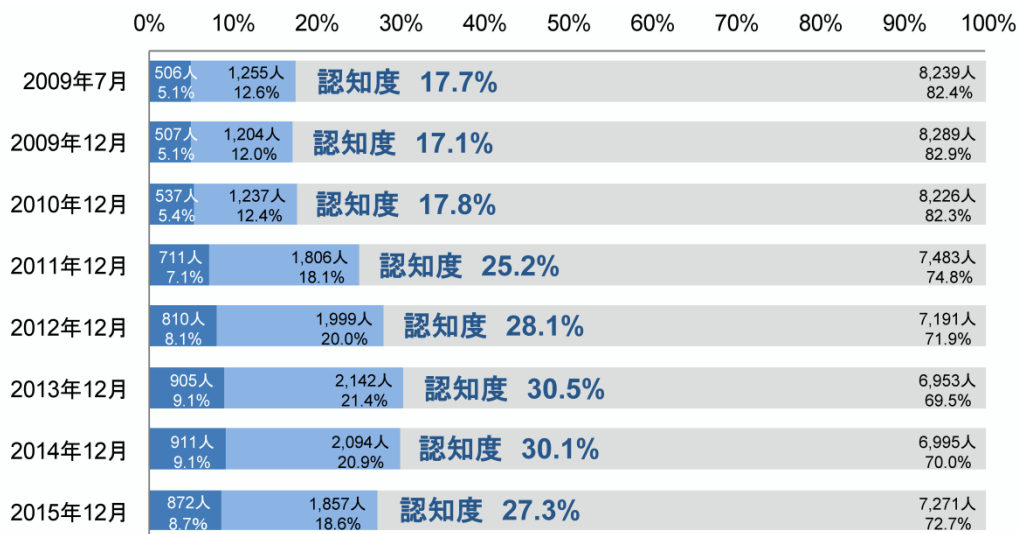
2015年12月に実施した調査で、「あなたはCOPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気を知っていますか？」という質問に対して「どんな病気かよく知っている」「名前は聞いたことがある」と答えた人は合わせて2,729人（27.3%）でした。2009年から2010年にかけての3回の調査では、COPDの認知度は17%台で変化がみられませんでしたでしたが、2011年には25.2%、2012年には28.1%、2013年には30.5%と順調に上昇してきました。しかし、この2013年をピークに認知度は低下に転じ、2015年には2014年の30.1%から2.8ポイント低下しました。

COPD 認知度（2015年12月調査）



（単一回答 n=10,000）

COPD 認知度の推移



■ どんな病気かよく知っている ■ 名前は聞いたことがある ■ 知らない

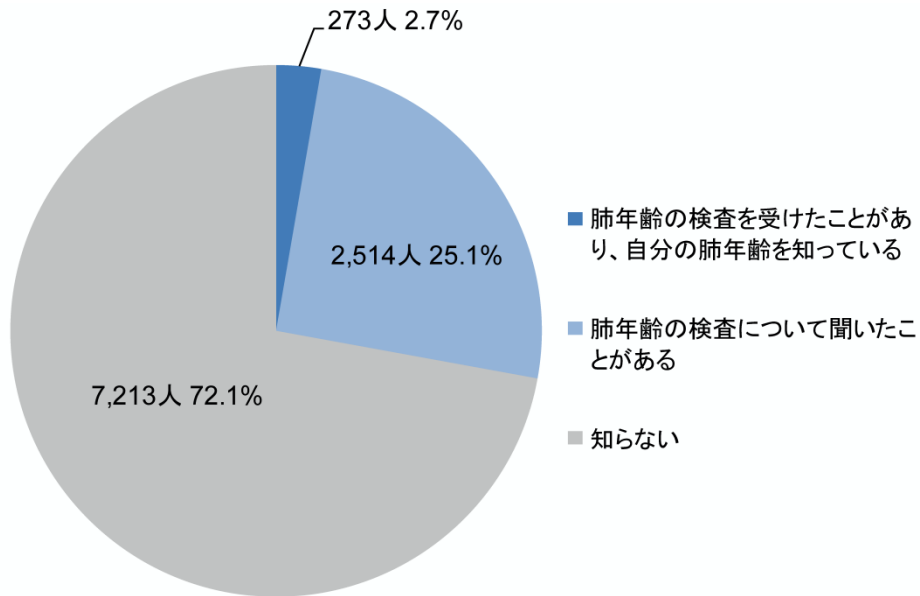
（単一回答 それぞれn=10,000）

資料

● 肺年齢の検査の認知度とその推移（予備調査 Q2）

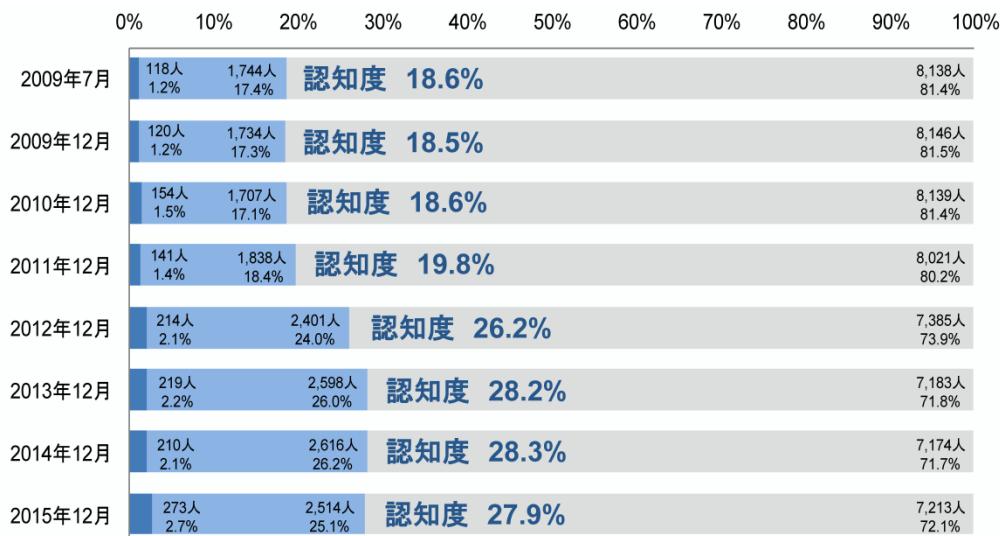
2015年12月に実施した調査で、「あなたは『肺年齢』の検査について知っていますか？」という質問に対して「肺年齢の検査を受けたことがあり、自分の肺年齢を知っている」「肺年齢の検査について聞いたことがある」と答えた人は合わせて2,787人（27.9%）でした。2009年から2011年にかけての4回の調査では、肺年齢の認知度は18～19%台でほとんど変化がみられませんでした。2012年には6ポイント以上、2013年にはさらに2ポイント上昇しました。2014年は2013年とほぼ変わらない認知度でしたが、2015年にはわずかに低下しました。

肺年齢の検査の認知度（2015年12月調査）



（単一回答 n=10,000）

肺年齢の検査の認知度の推移



- 肺年齢の検査を受けたことがあり、自分の肺年齢を知っている
- 肺年齢の検査について聞いたことがある
- 知らない

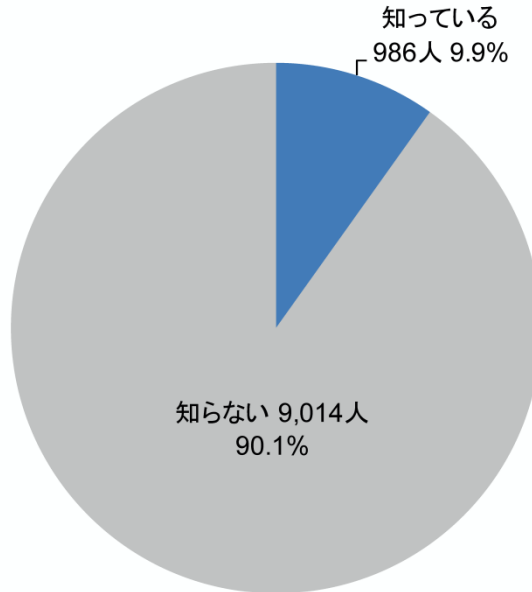
（単一回答 それぞれn=10,000）

資料

● 「COPDの早期発見に肺年齢の検査が有効である」ことの認知度とその推移（予備調査 Q3）

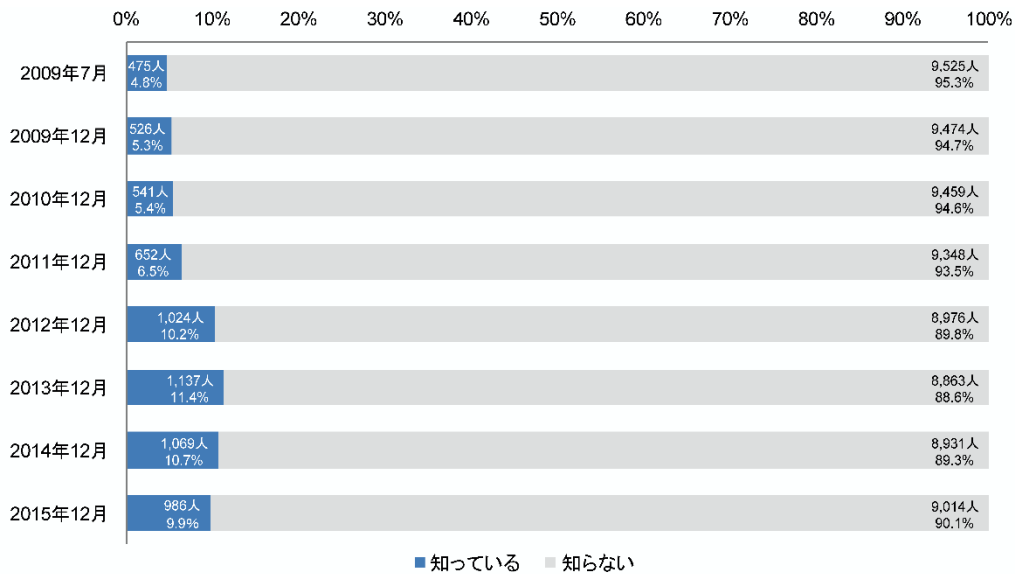
2015年12月に実施した調査で、「『COPDの早期発見に肺年齢の検査が有効である』と言われていることを知っていますか？」という質問に対して「知っている」と答えた人は986人（9.9%）でした。2009年から2011年にかけての4回の調査では4～6%台でわずかに上昇傾向にありましたが、2012年には2011年より4ポイント弱上昇して初めて10%を超え、2013年にはさらに1.2ポイント上昇しました。しかし、2014年には低下に転じ、2015年には再び10%を切っています。

「COPDの早期発見に肺年齢の検査が有効である」ことの認知度（2015年12月調査）



（単一回答 n=10,000）

「COPDの早期発見に肺年齢の検査が有効である」ことの認知度の推移

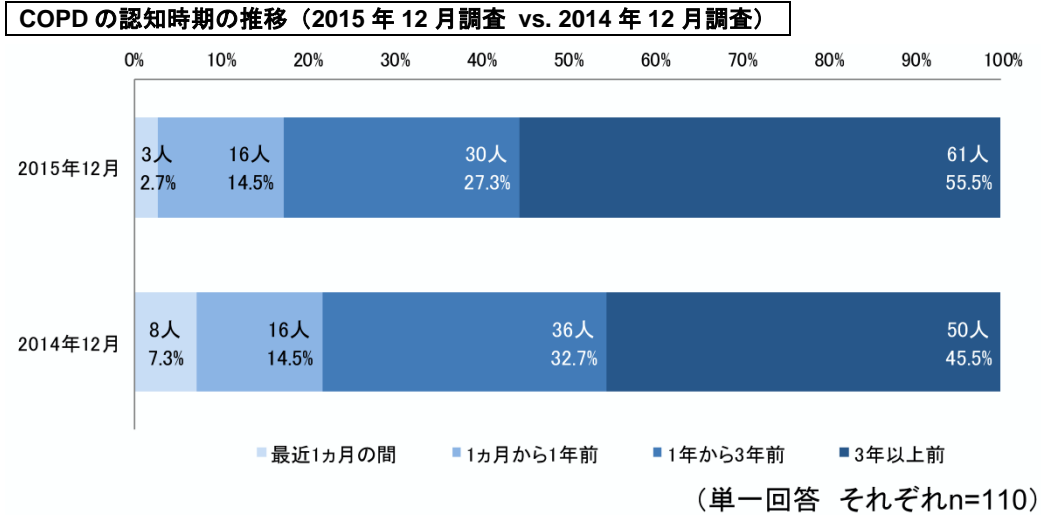


（単一回答 それぞれn=10,000）

資料

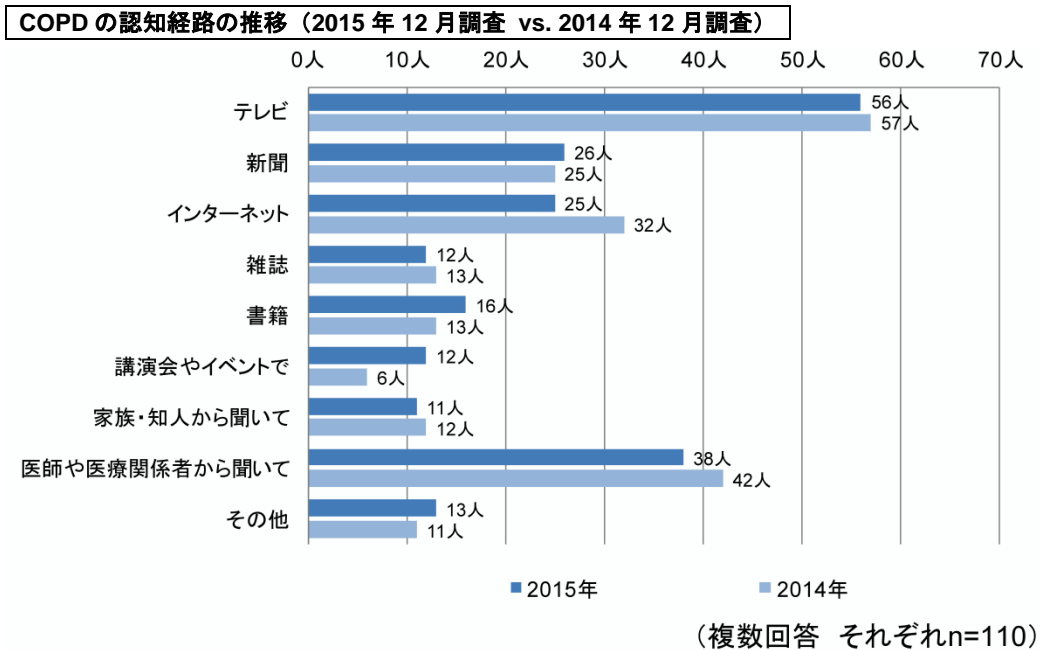
● COPD の認知時期（本調査 Q1）

2015年12月に実施した調査で、「COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気について知ったのはいつですか？」という質問に対して最も多かった回答は「3年以上前」でした（61人、55.5%）。最近1年の間にCOPDを知った人は合わせて19人（17.3%）で、2014年（21.8%、24/110人）よりおよそ2割減少しました。



● COPD の認知経路（本調査 Q2）

2015年12月に実施した調査で、「どのような経路でCOPDについて知りましたか？」という質問（複数回答）で回答が多かったのは「テレビ」56人、「医師や医療関係者から聞いて」38人、「新聞」26人の順でした。2014年と比べて主に「医師や医療関係者から聞いて」「インターネット」が減少し、「講演会やイベントで」が増加しました。「講演会やイベントで」は、2014年の6人から、2倍の12人に増加しています。

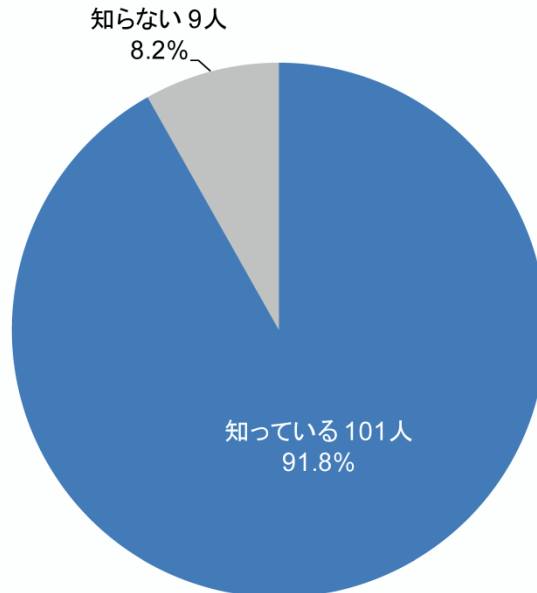


資料

● 「COPDの原因の90%以上が喫煙である」ことの認知度（本調査 Q3）

2015年12月に実施した調査で、「COPDの原因の90%以上は喫煙であることを知っていますか？」という質問に対して「知っている」と答えた人は101人（91.8%）であり、COPDを知っている人のほとんどがCOPDの原因を正しく認識していることがわかりました。

「COPDの原因の90%以上が喫煙である」ことの認知度（2015年12月調査）

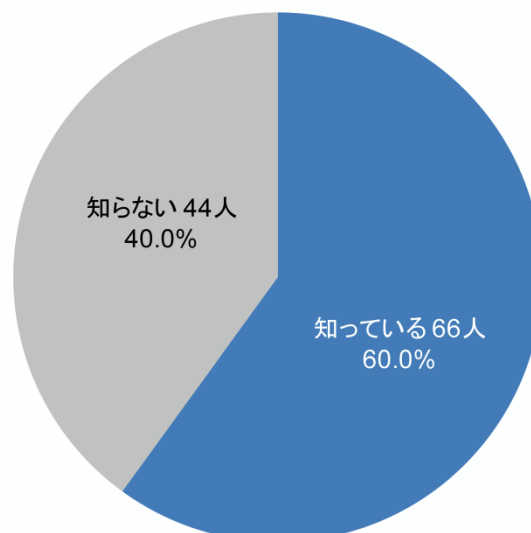


（単一回答 n=110）

● 「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人にCOPDの可能性がある」ことの認知度（本調査 Q4）

2015年12月に実施した調査で、「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性があることを知っていますか？」という質問に対して「知っている」と答えた人は66人（60.0%）であり、COPDを知っている人の半数以上が喫煙経験と年齢、COPDの関連を正しく認識していることがわかりました。

「喫煙経験のある40歳以上の8人に1人にCOPDの可能性がある」ことの認知度（2015年12月調査）



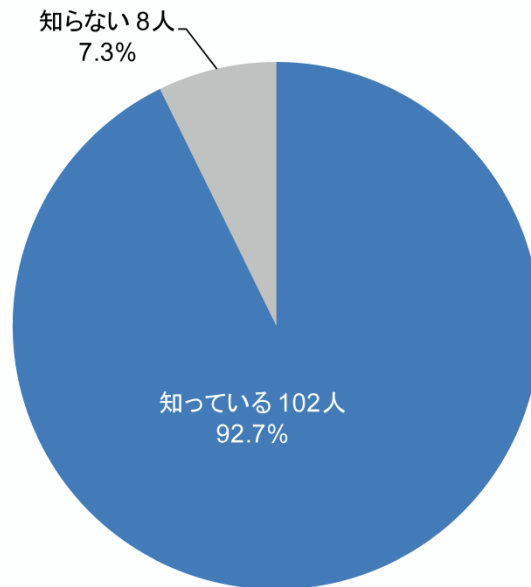
（単一回答 n=110）

資料

● 「COPDの主な症状が慢性的な咳と痰、息切れである」ことの認知度（本調査 Q5）

2015年12月に実施した調査で、「COPDの主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れであることを知っていますか？」という質問に対して「知っている」と答えた人は102人（92.2%）であり、COPDを知っている人の9割以上がCOPDの主な症状を正しく認識していることがわかりました。

「COPDの主な症状が慢性的な咳と痰、息切れである」ことの認知度（2015年12月調査）



（単一回答 n=110）